

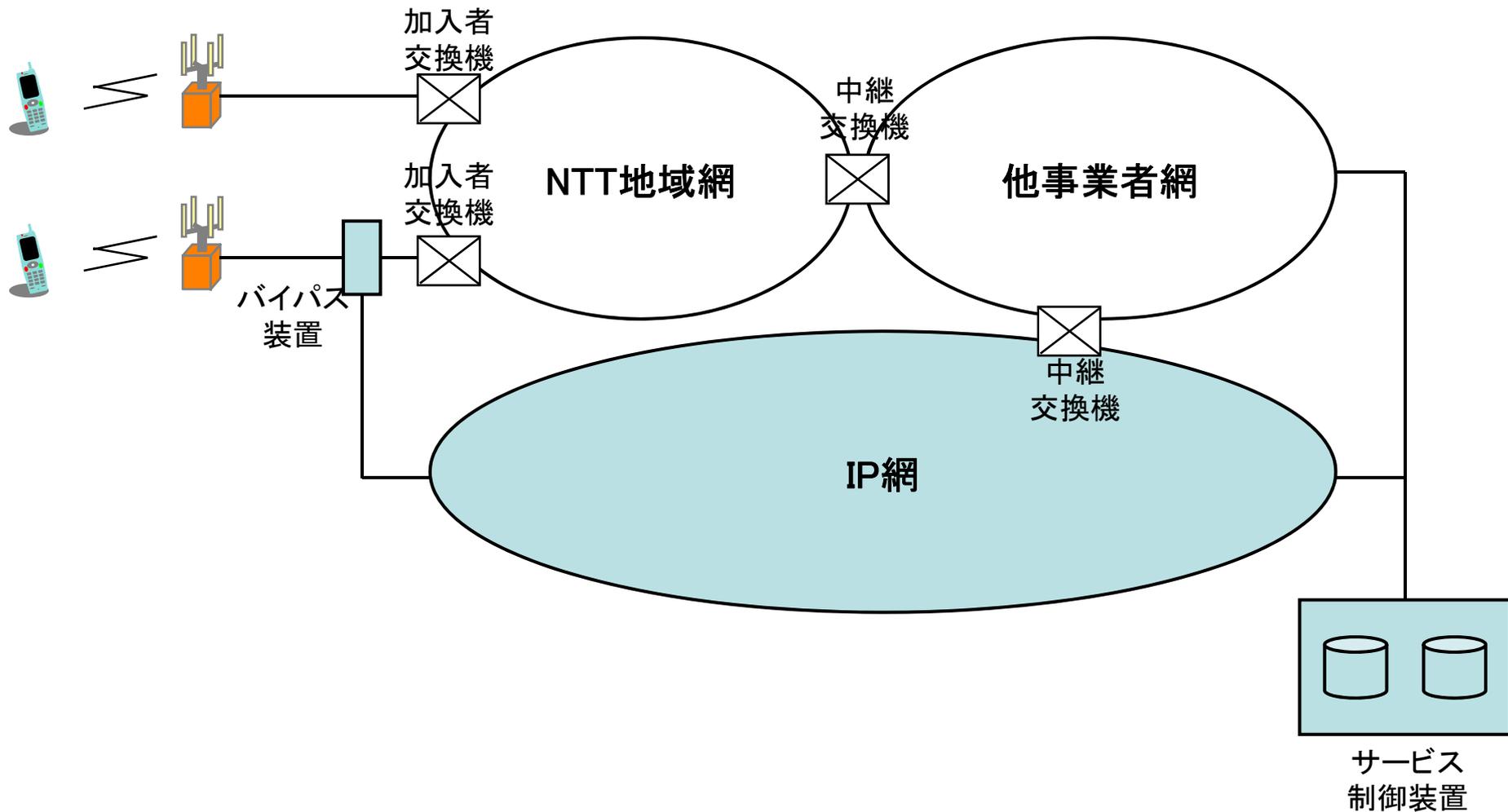
IPネットワーク管理・人材研究会(第4回) プレゼンテーション

2008年6月26日

ウィルコム

ネットワークの現状

ウィルコムネットワークは当初NTT地域網活用型で構築していたが、徐々にIP網への移行を進めている。



資格支援制度

当社が取得を推奨している資格については、資金的援助を実施

当社が取得を推奨している資格(一部抜粋)

- ・電気通信主任技術者
 - ・電気主任技術者
 - ・陸上無線技術士
 - ・総合無線通信士
 - ・工事担任者
 - ・情報処理技術者
 - ・技術士
 - ・CISCO社認定資格
 - ・マイクロソフト社認定資格
 - ・オラクル社認定資格
- 等

人材育成

資格の取得だけでなく、スキル向上のため以下の取り組みを実施

【技術スキルの向上】

- ・社外研修
 - IPネットワーク
 - ベンダー系研修
 - サーバー
 - プログラミング言語
 - セキュリティ

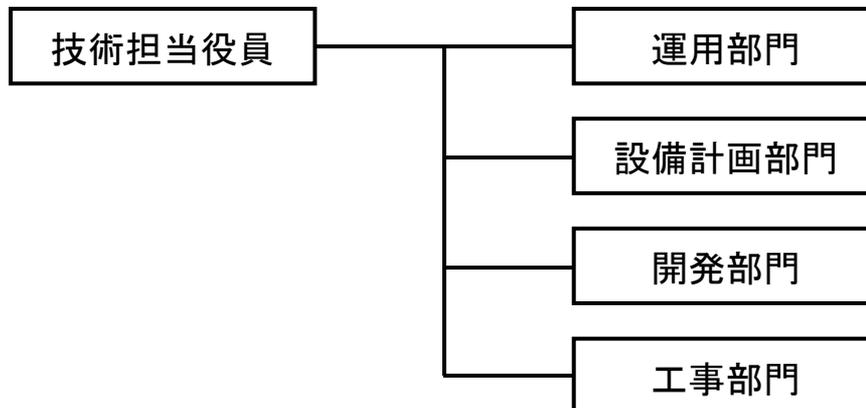
【運用スキル・保守スキルの立ち上げ】

- ・OJT
 - 新規導入機器/技術研修

【保守スキルの維持向上】

- ・障害訓練

参考) 当社の技術系組織



各部門において基地局/交換機/サーバー等それぞれの担当が存在

-上記育成を必要スキルに応じて実施

研究会検討事項に関する当社の考え1

1. ネットワークのIP化に伴う電気通信設備の設計・管理手法の変化に伴う課題

- ・IP化の大きな課題としては、設備管理・監視だけでは不十分で、トラヒック管理・監視やエンド・エンドのサービス管理・監視も重要であると考えられる。
- ・IP化の進展及びレガシーとの共存により、幅広い知識が必要になると考えられるが、従来の設計・管理手法による知識がベースとなる。

2. 新たな技術やリスク管理に対応した技術者育成のあり方について

- ・IP技術導入に伴う基礎知識の取得は前提とし、個別に障害時のリカバリ等、実践的な技術力の向上が必要（研修/OJT/訓練）

3. 事業規模や設備の構成・機能等により求められる電気通信主任技術者のスキル要件について

- ・電気通信主任技術者に求められるスキルは、事業規模やサービス形態による差異はない

研究会検討事項に関する当社の考え2

4.電気通信主任技術者のあり方について

- ・既存の電気通信主任技術者試験にIP系装置に関する試験を拡充すべきと考える
（伝送交換主任技術者のデータ通信分野）
- ・また技術の進歩に応じて、電気通信主任技術者を対象とした定期的な研修を実施し、資格取得後のスキル向上について支援すべきと考える（参加は推奨）

5.アウトソーシングの拡張拡大について

- ・アウトソーシングについて十分に監督できることを前提に柔軟な配置を検討すべき